

今月のテーマ

アイヌ文化のことをもっともっと話したい！
本田優子と村木美幸の二人が、その魅力を交代で
執筆するソンコ(=お便り)形式のエッセイです。

エトウピリカ(エトピリカ)

村木美幸(アイヌ民族文化財団副理事長)

幕

府の役人であった秦檜磨が著した『蝦夷島奇
観』に、エトウピリカの絵に添えられた解説が書
かれています。「イドピリカチカップ 圖 奥蝦夷地何處に
もあり。大サ如家鴨。イドは鼻の稱、ヒルカとハ善といへ
る語なり。チカップは鳥の通称。其所にてハ、此鳥を捕
て肉を喰ふ也。則、其骨を以て煮熟すと云。」つまり、エ
トウピリカは、道東や千島列島に
生息し、大きさはアヒルほど。
アイヌ語のエトウピリカ チカ
で鼻(嘴)が美しい鳥という意
味。…エトウピリカの骨を煮詰め
たスープで肉を調理して食べ
る、というもの。どんな味がする
のでしょうか？魚を食べるので
鶏肉とは違うと思いますが、美
味しいのかな？とはいつても、
エトウピリカは、狩猟鳥獣ではな
いので捕ることができません。

エトウピリカは北太平洋に広
く生息する、ウミスズメ科の海鳥で、国内では、根室市の
ユルリ島、コユルリ島での繁殖が確認されていますが、
環境省の絶滅危惧種ⅠA類、国内希少野生動植物種に
指定されています。アイヌ語名の「鼻が美しい」とお
り、鮮やかなオレンジ色の縦に平べったい嘴が特徴的
です。この嘴の装飾は繁殖期が終わると外れてしまつて



イラスト/山丸ケニ

意外と知られてないですよ？繁殖期は嘴だけでな
く、顔は白く、眼の上から伸びる金色を帯びた飾り羽も
特徴的であることから別名「花魁鳥」とも呼ばれます
が、冬羽は飾り羽もなくなり、顔も煤けたように黒っぽ
くなるので、同じ鳥とは思えないかもしれませんね。
このエトウピリカやカモ、アホウドリなどの海鳥を
使った千島アイヌの衣服にラ
ブ(鳥皮衣)があります。羽毛を
一枚ずつ綴ったものではなく、鳥
の皮を羽根つきのまま背割りに
して剥いで、縫い合わせたもの
で一枚で着る場合は羽毛が内側
にくるように着て、二枚を重ね
て着る場合は上衣の羽毛を外
側にして着るのこのこと。暖かさ
が増すんですよ。

番組「情熱大陸」のエンディング曲で、作曲者の葉加瀬
太郎氏は子供の頃からこの鳥が好きだったとのこと。
ちなみにこの曲のCDジャケットには日本語名ではな
く、アイヌ語のローマ字表記「Eupinka」が使われてい
ます。大好きな曲のタイトルがアイヌ語だと知ったとき
は、とっても感慨深いものがありました。



次回のテーマは「ウエランカラブ(挨拶)」
本田優子(札幌大学教授)が担当します。



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

JR白老駅から徒歩約10分



ウポポイPRキャラクター
「トラレップン」



イランカラッポ
「こんにちほ」からはじめよう。

■本田優子(ほんだゆうこ):金沢市生まれ。札幌大学教授。北大卒業後11年間平取町二風谷に住み、アイヌ語講師を務める。
■村木美幸(むらきみゆき):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団副理事長。先住民族アイヌの一員として文化継承活動に努める。
■山丸ケニ(やままるけに):白老町生まれ。アイヌ民族文化財団職員。ウポポイでアイヌ語体験プログラムを担当する。